



がんの腹腔鏡下手術は婦人科領域にも広がっている。全国的に見ると、早期の子宮体がんを対象にした外科手術の約3割を占める。今年2月、群馬大医学部附属病院産科婦人科教授に技術認定医の資格を持つ岩瀬明さんが就任。質の高い医療を提供する体制が整い、子宮がんの治療法の一つとして本県でも選択できるようになった。

産科婦人科教授

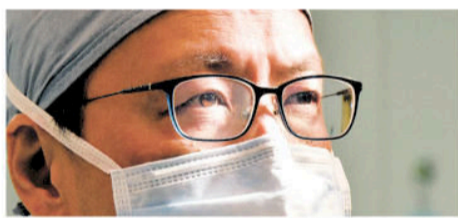
IWASE AKIRA 岩瀬 明

子宮がんの腹腔鏡下手術 プロセスを経て安全に

適応は早期がん 新たな選択肢の一つ

腹腔鏡下手術は開腹手術と比べて体への負担が軽く、患者さんにとって利点の大きい治療法です。早期がんに限られますが、子宮体がんは4年前、子宮頸がんも今年4月から保険適用になりました。難易度の高い術式なので、術者と施設の両方が基準を満たした医療機関で実施しています。

「安全な医療」を行うには、倫理委員会での評価や指導者の招聘といった具体的なプロセスを経ることが肝心です。難しい手術になれば一定の確率で再



手術になったり合併症も出ます。開腹手術でも言えることですが、「安心の医療」の基本は、分かりやすく説明をして十分に理解していただき、治療法を選択してもらうことだと考えています。

専門の子宮内膜症 総合的診療能力養う

生命の誕生に関わるなどの特殊性がある診療科を選び、オールマイティーな産科婦人科医でありたいと歩んできました。生殖医療の研究を進める上での専門は子宮内膜症。不妊症の原因になることが多く、治療のために手術をしたり生理痛が重い人には薬物療法が必要になるなど、総合的な診療能力が求められる疾患です。その延長線として、悪性腫瘍の手術にも携わるようになりました。

大学病院の使命は「教育、研究、臨床」の三つ。専門分野のエキスパートを

育てることと並行して、守備範囲の広い人材を育成して関連病院に派遣したいと考えています。がんの腹腔鏡下手術も群馬大病院だけでなく、患者さんが通いやすい地域でも行えるように努めます。



生殖内分泌の研究で素晴らしい歴史のある群馬大病院に身を置くことは大変光栄です。同時に、長く在籍していた母校の名古屋大病院でも過去に外科で医療事故が起こり、「その経験から学んだことを生かせたら」という強い思いがあります。群馬の皆さんのため、質の高い医療の提供に尽力します。

主催：群馬県がん診療連携協議会／群馬県

市民講座

参加費 無料 申込み 不要

※当日、直接会場へお越しください

日時 平成30年 6月30日(土) 13:00~16:30(開場12:30)
会場 群馬会館(群馬県庁前) 前橋市大手町2-1-1 ※駐車場は群馬県庁駐車場をご利用ください。

- 内容
- 講演① 「免疫チェックポイント阻害薬によるがん治療」
群馬大学医学部附属病院 呼吸器・アレルギー内科 砂長 則明
 - 講演② 「生きる力を育むコミュニティ緩和ケア」
医療法人心の郷穂波の郷クリニック 緩和ケア支援センターはるか センター長 大石 春美

交流茶話会 参加自由です。患者会メンバーも参加しますので、お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせ先 群馬大学医学部附属病院 医事課 TEL:027-220-7854

病院ボランティアさん募集

当院では、ボランティアの方々の温かい手助けにより、患者さんが心の安らぎを得られる環境づくりができればと考えております。ボランティア活動には、特別な資格を持たなくても、患者さんのお役にたきたいと思っている方、人と人とのふれあいをもちたいと思う方であれば、どなたでも参加することができます。

活動時間

- 平日午前8時半~午後5時の間の都合の良い時間
- 長期にできる方で週1~2日程度

活動内容

- 案内と誘導
- 身体の不自由な人のお手伝い
- 車いすの介助 など



申し込み・問い合わせ

医事課/Tel 027-220-7827 Fax 027-220-7832
E-mail/volunteer-m@jimu.gunma-u.ac.jp

※直接お話を聞きたい方は、外来棟1階総合案内までお越しください。

理念「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る」

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。



群馬大医学部附属病院

前橋市昭和町3-39-15 TEL.027-220-7111(代表)
http://hospital.med.gunma-u.ac.jp/